

学校だより

7月号

<http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-chu/>

”感謝”の運動会

校長 吉田 美佳

雨後の緑が目には鮮やかな季節となりました。梅雨明けが待ち遠しくなります。

先日は第40回運動会においてたくさんのご声援をありがとうございました。今年度のスローガンは「新型コロナに打ち勝とう 希望へ止まらず突き進め」でした。当日は、徒競走も応援団も、子どもたちの意欲と元気があふれていました。繰り返し練習した演技表現は、どの学年も最高の出来栄で笑顔が輝いていました。子どもたちの頑張りはもちろんのこと、運動会を無事に開催できたのも、子どもたちの健康とモチベーションを支えてくださった保護者の皆さまのお陰です。また、PTA 本部役員及び各委員、おやじたちの会など多くのボランティアの方々のご協力にも、改めて感謝いたします。参加するすべての人が運動会を成功させるぞ、という希望や思いを持ち続けからこそ実施できたのだと思います。

運動会後には児童会からつきみ野中学校にお礼の手紙を届けました。

○今年、校舎増築工事や新型コロナウイルスの影響で、運動会はできないと思っていました。しかし、つきみ野中学校が校庭を貸してくださったおかげで、小学校最後の運動会を無事に終えることができ、最高の思い出を作ることができました。本当にありがとうございました。(6年生運営委員)

○昨年は運動会ができず、とてもさびしい思いをしていましたが、今年につきみ野中学校が会場として校庭を貸していただいたおかげで、毎年楽しみにしていた運動会ができて、また来週から学校をがんばろうと思いました。(5年生運営委員)

これらの手紙を見て、心が温かくなりました。感謝の気持ちを子どもたちも持ってくれていることがとても嬉しいです。心を一つに動くことが大きな力になるということを実感できた運動会は、感謝あふれる運動会でもありました。

コロナ禍でさまざまな事業が大打撃を受けている中、某旅行ガイドブックが、発想の転換によって大ヒットしました。「旅行」が気軽にできない状況下で、国内や外国ではなく“宇宙旅行”のためのガイドブックを発行したのです。宇宙船の解説、実際に計画されている具体的な宇宙旅行プランを予算や日程、人数など具体的なデータと共に掲載し、「持ちものリスト」やトイレ事情まで詳しく想定され、来たるべき宇宙旅行時代に備えた内容だそうです。発売と同時に話題となり入荷待ちが続く大注目作となりました。

中林小の運動会も昨年度は中止となり、今年度も校舎増築工事とコロナ禍で例年通りというわけにはいかず、発想の転換が必要でした。声出し禁止、距離を取るなど多くの制限があり、さらにマスク着用などコロナ感染症対策と熱中症対策の両立にも悩まされました。また、この状況下での開催に向けて、昼食なしの午前中開催、保護者と一緒の登下校、プログラムの変更や参観入れ替え制など、繰り返し見直し、話し合い、改良を重ねてきました。

「できないことを数えるよりも、できることを数えよう」、とても前向きな良い言葉だと思います。これから控えている学校行事についても、アイデアと工夫でできることを一つひとつ重ねながら、中央林間小学校は今後も前向きに取り組んでいきます。

